

## オンラインで作る日本語ドラマ

### 【講座内容】

本講座では、受講生が講師とともに日本語で演劇を作成し、それにより日本語の自然な会話表現を学ぶことで、日本語コミュニケーション能力を楽しく磨くことを目的としています。授業では、オンライン上で受講生が集う講義画面（ギャラリービュー）を舞台に、セリフやアクションだけでなく、背景画像や音楽などを使いオンラインならではの作品を作り上げます。まずは日本の中でどのように演劇は楽しんでいるかを学びます。その後、参加者同士で表現や話し合いをしやすいためのゲームを行い、講師が提供する短編シナリオを用いてオンライン演劇を体験します。講座の後半からは受講生が協力してシナリオを作成し、演劇を作り上げていきます。シナリオ作成では、実際に受講生がこれまでにしたことがある失敗をテーマに、それらを主人公が乗り越え成長するという物語を作り上げます。受講生の人数にもよりますが、一つの作品は10分から15分を予定しています。これまでの演劇経験は必要ありません。オンライン上で行うので、シナリオを完璧に覚えられなくても画面上にシナリオを表示しながら本番をすることができます。日本語を学ぶだけでなく、日本語を使うことを楽しみながら経験してもらえればと思います。

### 【重点を置く学習内容】

話す、話し合う、自己表現力、協働学習

### 【テキスト】

講師作成の教材・スライド等を電子配布



↑ オンライン演劇の様子

### 【各回の内容（全12回）】

- 1回目：日本では、どこで、だれが、どうやって演劇をしているのか
- 2回目：学校や会社などで使われ始めた演劇
- 3回目：演劇作りのウォーミングアップ
- 4回目：短いシナリオで演劇を経験してみよう
- 5回目：短いシナリオを発表してみよう
- 6回目：オリジナルシナリオ作りのために自分の経験を共有する
- 7回目：みんなの経験から登場人物を作り、シナリオを書き始める
- 8回目：講師のチェックとともに参加者で話し合っ1つのシナリオを完成させる
- 9回目：練習し、リハーサル発表
- 10回目：リハーサルの結果から、作品をよりよく修正する
- 11回目：最終発表・本番
- 12回目：本番の感想会と振り返り